

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	17			シート作成者		-	-
事務事業名	建設・修繕工事の設計図書の作成			事務区分	自治事務	部課かい名	建設部 建築課
事業の目的	的確な設計図書の作成			事業の目標	建設・修繕を予定している施設所管課からの依頼による設計図書の作成		
事業の概要	建設・修繕を予定している所管課からの工事設計依頼について、協議検討し、現場調査の上効率的な建設や計画的な改修を考慮した設計図書の作成を行う。						
対象	施設所管課			事業の性質区分	定例・定型		業務計画
指標	設計図書の作成件数						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
20件	20件	20件		20件		20件	
事業費		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください	
事業費	実施計画事業費	—	3,509,000	4,133,000	3,858,000		
	予算額	2,909,000	3,520,000				
	決算額	2,817,253					
	執行率	96.8%					
	従事者数	1.60	2.06				
財源内訳	職員	1.60	2.06				
	臨時・非常勤等						
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
一般財源	2,817,253	3,520,000					

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>指標に対して目標は達成している。これまででも大規模施設の設計や特殊な用途施設の設計等については、外部委託方式を採用してきた。既存施設の老朽化・劣化により修繕頻度が増している状況の中、今後も施設修繕業務は継続的かつ重要な業務であり、施設が安全で安心して利用できるように必要不可欠な事業である。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<p>年度ごとに事業数のばらつきはあるが、年度当初に予定している事業については計画的に発注を行っている。突発的に発生する施設の不具合及び補正予算の見積依頼や修繕依頼が当初予定の業務と重なり職員の負担となっている。</p>
事務効率	<p>当初予定している事業の範囲にあつては計画的に事務を執行することができている。突発的に発生する施設の不具合に対して、当初予定している業務と新規業務との掛け持ちが発生しており職員の負担を軽減するため、外部委託への振り替えを検討し事業の内容を勘案した中で外部委託発注を行う。</p>
事業成果及び事務効率に対する評価	
<p>成果があがっているが、実施手法は効率的でない</p>	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率を上げる	<p>27年度までの事業手法を踏まえ、28年度より新規に委託料を予算計上し、これまで大規模事業や特殊事業についてのみ外部委託を実施してきたものに加え、小規模な事業や突発的な事業についても予算の範囲で効率的な事業実施が可能となる外部委託方式を試行実施することとした。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	10			シート作成者	-	-		
事務事業名	退去に伴う明渡し		事務区分	自治事務	部課かい名	建設部 建築課		
事業の目的	次の入居者が気持ちよく入居できるよう整備を行う。(明渡し届出、それに伴う市営住宅維持補修)		事業の目標		明渡し届出書に基づく速やかでの確な現地検査及びリフォーム修繕の手配。			
事業の概要	明渡し届出書に基づく速やかでの確な現地検査及びリフォーム修繕の手配。 (平成27年度より提案型民間活用制度を活用している。)							
対象	明渡し届出書を提出した入居者、入居待機者		事業の性質区分		定例・定型		業務計画	■
指標	明渡し件数(第2次実施計画) 日常修繕の件数(民間事業者からの報告件数)(第3次実施計画)							
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)		
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
15件	9件 (108件)	120件		120件		120件		
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください		
事業費	実施計画事業費	-	25,000,000	25,000,000	27,376,000			
	予算額	26,540,000	25,000,000					
	決算額	25,492,225						
	執行率	96.1%						
	従事者数	0.04	0.76					
	職員	0.04	0.76					
財源内訳	臨時・非常勤等							
	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	7,910,532	10,675,000					
	一般財源	17,581,693	14,325,000					

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>退去に伴う明渡しとして、退去者からの明渡し届出書の受領及び明渡し修繕を行うものであり、平成27年度より提案型民間活用制度を活用しているものである。退去に伴う明渡し修繕は、次の入居者が新たに生活を始める住居の環境整備として重要なものであり必要性は高く、また、迅速かつ的確な修繕が求められている。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	事業費の構成は、市営住宅維持補修経費として提案型民間活用制度及び緊急修繕等を要する修繕業務を合わせたものであるが、提案型民間活用制度に絞ると予算額25,000,000円に対し執行額は24,999,759円、執行率として99.99%となっている。また、修繕等の実績としては、修繕全体として108件、そのうち明渡し修繕は9件となっている。課題としては、明渡し修繕に係る修繕実施箇所の判断基準を設ける等、さらなる改善の余地がある。
事務効率	これまで、入居者からの修繕等に関する問い合わせを職員が受け、現地の確認及び修繕業者の手配等を行っていたが、本制度を活用したことにより、修繕の問い合わせから作業まで一括して対応することができるようになり、入居者への迅速な対応が可能となった。また、併せてこれまで修繕立ち会い等に要していた時間を他の業務に割くことができ、業務の効率化を図ることができた。
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	<p>27年度の実績を基に検証及び課題の抽出・分析を行うとともに、毎月の報告書を四半期毎に検証することで適正な修繕業務の執行に努める。また、検証結果や本市及び他市等の修繕実績を参考に、明渡し修繕に係る費用負担区分や検査・確認項目、損傷程度に応じた修繕判断の基礎となる事務取扱要領を28年度末を目途に策定し、修繕事務業務の効率化を図る。</p> <p>なお、28年度における本事業の評価を明確にするため、平成28年2月に作成した業務棚卸評価シートに基づき、本事業と事務事業評価表の項番11～13(※)を統合し、さらに①提案型民間活用制度事業に係る住宅修繕及び明渡し修繕と、②提案型民間活用制度を伴わない緊急修繕に分割し、①提案型民間活用制度事業に関する事業を評価対象とする(第3次実施計画上の事業名は「市営住宅の修繕(提案型民間活用制度事業)」とした)。</p> <p>※No.11:「退去に伴う明渡し(新設借上型市営住宅)」, No.12:「市営住宅の補修」, No.13:「市営住宅の補修(新設借上型市営住宅)」</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]